



オンライン開催

## 震災を語り継ぐ

～いのちのバトンを手渡すために～

2011 年から被災と復興の証人になろうと東北4県を訪れ、いくつもの小さな物語に耳を傾けて、12 年が過ぎました。2022 年度からは、福島とその周辺を中心に、災害と人間について考える「東日本・家族応援プロジェクト+（プラス）」として継続しています。本シンポジウムでは、今年度現地を訪れた院生の報告や、現地の皆様からの近況報告に加えて、さまざまな立場から「語り継ぐ」ための活動を展開している方がたに発言していただき、東北に思いを寄せる人びとをつなぎ、交流を深めたいと思います。是非ご参加ください。

**2023.9/23 [SAT] 13:00-17:00 開場 12:45**

### ～ プログラム ～

13:00～ 学部長あいさつ

プロジェクト概要と企画趣旨

第1部 東北各地の<sup>いま</sup>現在を語る

・院生報告

2023 年度プロジェクト概要の紹介と院生たちの語り

・現地の皆様からの報告

現在の状況と今後に向けて

14:20～ 第2部 語り継ぐために ～聴く・編む・手渡す～

・高校生たちの活動報告

・民話の語りと次世代へのメッセージ

・〈聞き手－語り手〉からのエール

16:30～ 第3部 交流会

※プログラム詳細は裏面をご覧ください。

※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

★事前申込みが必要です

・QRコードから



・メールから

[ejfspj2011@gmail.com](mailto:ejfspj2011@gmail.com)

\* 件名「2023 シンポジウム参加」  
\* 本文に以下①～④をご記入願います。

①お名前

②メールアドレス

③お住まいの都道府県名

④緊急時の連絡先

締切：9月18日（月）

※9月21日（木）にメールで当日の接続 URL を送信いたします。

## ～ プログラム ～

13:00～

学部長あいさつ

サトウ タツヤ (立命館大学総合心理学部長)

プロジェクト概要と企画趣旨 村本 邦子 (プロジェクトリーダー/人間科学研究科 教授)

### 第1部 東北各地の<sup>いま</sup>現在を語る

進行：村本 邦子

- ・院生報告 2023年度プロジェクト概要の紹介と院生たちの語り
  - ・現地の皆様からの報告、現在の状況と今後に向けて
    - 青森県むつ市 眞手 忍氏 (青森県むつ児童相談所こども相談課 課長)
    - 岩手県宮古市 斎藤 清志氏 (宮古市企画部田老総合事務所 所長)
    - 佐々木 純子氏 (一般社団法人宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド)
- ※ビデオレター
- 宮城県多賀城市 丸山 隆氏 (多賀城市教育委員会生涯学習課 副主任)
  - 黒川 恵子氏 (おおぞら保育園 園長)
  - 福島県白河市 小磯 厚子氏 (NPO 法人しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば 副代表)
  - 青砥 和希氏 (東日本大震災・原子力災害伝承館 常任研究員)

## 休憩

14:20～ 第2部 語り継ぐために ～聴く・編む・手渡す～

進行：太田 光美 (立命館大学大学院人間科学研究科博士課程前期課程1年)

東 知佐子 (同 博士課程前期課程2年)

- ・高校生たちの活動報告
  - 自由の森学園高等学校選択講座「東北と復興」メンバーの高校生と
  - 内田 一樹氏 (修了生、自由の森学園中学高等学校 社会科教諭)
  - しらかわの高校生とサポーター
- ・民話の語りと次世代へのメッセージ ※ビデオレター
  - 大平 悦子氏 (岩手県遠野市、日本民話の会会員)
  - 寺嶋 重子氏 (宮城県山元町、やまもと民話の会会員)
  - 長正 サツキ氏 (福島県飯舘村、みやぎ民話の会会員)
- ・〈聴き手-語り手〉からのエール
  - 瀬尾 夏美氏 (アーティスト、一般社団法人 NOOK)
  - 加藤 恵子氏 (みやぎ民話の会会員)

16:30～ 第3部 交流会

- ・全体の意見交換
- ・ブレイクアウトルーム

(終了予定 17:00)

# あそびとおはなしのひろばと 団士郎家族漫画展&トーク

**無料**

会場：白河市立図書館「りぶらん」

〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5  
東北本線白河駅下車 徒歩5分

白河市での開催は3回目です。  
どなたでもどうぞ！  
みんなで一緒に楽しみましょう。

**9/3(日)**

入退場  
自由

主催：立命館大学大学院人間科学研究科 共催：NPO法人 しらかわ市民活動支援会  
協力：一般社団法人 未来の準備室、特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

## 団士郎の漫画トーク

時間：10:00～11:30  
(受付開始9:45)



場所：中会議室1

対象：高校生以上のかたならどなたでも参加  
できます。お席に限りがありますので、お早め  
にお越しください。



講師：団 士郎  
立命館大学客員教授  
家族心理臨床家  
日本漫画家協会員  
漫画家

何も起こらない家族は、世の中に一組もありません。だから「何も起こらない家族」を目指すのではなく、何が起こっても「なんとか乗り越えることができる」力を身に付けることが大事！

家漫画『木陰の物語』を通して、知らない誰かの物語に、自分のご家族とを照らし合わせながら、「家族」に対する思い出や、色々な事をそれぞれの仕方ですべて「発見」していくことが大切だと思います。そんなお話をします。



★参加されるみなさまへ  
お願い

新型コロナウイルス感染症の  
拡大状況により、イベントを  
中止・延期する場合があります。

感染拡大防止の為、風邪の症  
状や発熱のある方のご来場は、  
自粛願います。ご来場の際は、  
検温・手洗い・アルコール消  
毒の実施やマスク着用などご  
協力をお願い致します。

## 団士郎家族漫画展



図書館「りぶらん」  
8/21～9/3

どうぞごゆっくり  
ご覧ください。

## ホッと一息 おもちゃであそぼう

時間：11:30～12:00

場所：中会議室3

司会：小磯 厚子（おひさまひろば副代表/  
おもちゃコンサルタントマスター）

コマやけん玉など木のおもちゃであそぼう  
グッド・トイがいっぱいあるよ！



## あそびとおはなしのひろば

時間：13:30～14:30  
(受付開始13:15)



場所：中会議室3

対象：赤ちゃんからお年寄りまで、どなたでも参加できます。  
小さなお子さまは、保護者同伴でお願いいたします。

司会：小磯 厚子

伝承のあそびやおはなしの世界をみんなで味わいましょう。  
小さなお子さまも一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。どうぞお楽しみに！

### タイムスケジュール

- 13:30～ 手あそび唄  
鵜野 祐介  
(立命館大学教授)
- 13:45～ 昔ばなしと指人形  
鳴島 あや子  
(しらかわ語りの会)
- 14:15～ お手玉あそび  
鵜野 祐介

### 予定の演目

- ◆ 手あそび唄  
「はじまるよ」  
「じいちゃんばあちゃん」  
「このしのご」  
「あんたがたどこさ」 etc.
- ◆ お手玉あそび  
「べったらべったん」  
「時計屋さん」  
「桃太郎さん」  
「あんたがたどこさ」 etc.

「東日本・家族応援プロジェクト+(プラス)」  
ってなあに？

活動内容、講師紹介、問合せ先など  
詳細につきましては裏面をご覧ください。

「東日本・家族応援プロジェクト+(プラス)」  
ってなあに？



←活動紹介

東日本・家族応援プロジェクトは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、遠くから細く長く、十年間、東北4県を巡り、現地の支援機関の協力を得て市民や支援者と交流し、被災と復興の証人になることを目指して活動してきました。プロジェクトは2021年度をもっていったんひと区切りし、2022年度からは形を変えて、災害と人間について考え、地域を学ぶ大学院の教育プログラム「東日本・家族応援プロジェクト+(プラス)」として、地元の皆様のご協力を頂きながら活動を続けます。

プロジェクト代表 村本 邦子(立命館大学大学院人間科学研究科 教授/臨床心理士)

## ◇講師・司会の紹介

### 団 士郎

(立命館大学客員教授/家族心理臨床家/漫画家)

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、WEB雑誌「対人援助マガジン」編集長。近年は上海、蘇州、ニューヨーク、ハワイでも漫画展を開催。全国で継続的に家族療法のワークショップを開催するほか、講演会も数多く開いている。

【主な著書】『家族の練習問題』1～9 (ホンブロック)、『不登校の解法』、『家族力×相談力』(ともに文春新書) など多数。2021年8月に、中国版「木陰の物語」が上海の出版社から刊行。  
『わが子が小学校に上がる前に読みたい木陰の物語』(ホンブロック, 2021) など。

[士郎さん.com \(shiro-san.com\)](http://shiro-san.com)

### 小磯 厚子

(NPO法人 しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば副代表/おもちゃコンサルタントマスター)

おひさまひろば・わんぱーくのスタッフ。国内外のおもちゃに精通し、優良なおもちゃ・遊びをバランスよく与えることのできる「遊びの栄養士」といわれるおもちゃコンサルタントマスター。福島県内でグッド・トイを使って良質なおもちゃの普及や活用方法について教える「おもちゃの広場」を開催。



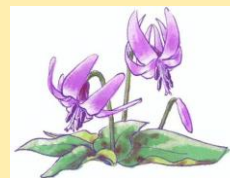
### 鶴野 祐介 (立命館大学文学部教授)

1961年岡山県生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。専門は教育人類学。日本、韓国・中国、英国スコットランドを主なフィールドとして、子ども期の伝承文化(遊び・子守唄・わらべうた・民間説話など)や児童文学・児童文化が子どもの人格形成に及ぼす影響について研究。アジア民間説話学会日本支部代表。子守唄・わらべうた学会代表。「うたとかたりのネットワーク」を主宰し、うたやかたりの実践・普及活動を進める。

【主な著書】『昔話の人間学 いのちとたましいの伝え方』(ナカニシヤ出版、2015)、『子どもの替え唄と戦争 笠木透のラスト・メッセージ』(子どもの文化研究所、2020)、『センス・オブ・ワンダーといのちのレッスン』(港の人、2020)、『世界子守唄紀行 子守唄の原像をたずねて』(藤原書店、2023)、『うたとかたりの人間学 いのちのバトン』(青土社、2023) など。

### 鳴島 あや子 (しらかわ語りの会会長)

元保育士(37年間 市内保育園勤務)  
昔話・伝説・史話や小道具を使ったお話を、保育園、幼稚園、小学校、児童クラブ、老人会などで伝えながら、語りの楽しさを広めている。  
白河かるた振興委員、中山義秀記念文学館運営委員、図書館おはなしボランティア、コミネスサポーターズ、小田川小学校読み聞かせボランティアなどのグループに所属している。



#### 《漫画トーク参加者アンケートより》

・ちょっとした関わりを試みや変化で、劇的に家族のあり方や、児童のあり方が、変わることに素晴らしさを感じました。固定的な物の捉え方でないことの大事さを感じました。

・自分の概念、考えの幅、枠を広げられる講演でした。役に立つことをするという事は、これからも心にずっととどめておこうと思いました。

#### 《漫画展来場者アンケートより》

漫画を見ていて、とても温かい気持ちになりました。誘って下さった友人に感謝致します。

#### プログラムサポート

立命館大学大学院人間科学研究科の院生たち

#### 問合せ先

立命館大学大学院人間科学研究科  
東日本・家族応援プロジェクト+(プラス) 事務局  
e-mail: [ejfspj2011@gmail.com](mailto:ejfspj2011@gmail.com)